

フィッシング対策協議会

月次報告書（2006年1月分）

フィッシング情報届出状況

2006年2月20日

目次

1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況.....	3
1.3.	フィッシングサイトの国別トップ 10	3
1.4.	フィッシングメールの動向.....	3
1.5.	フィッシングサイトの動向	4
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	4
1.7.	その他の動向	4
1.8.	総括.....	4

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

2006年1月度のフィッシング報告件数は6件でした。

・フィッシング情報の届出件数： 6件

(12月度0件、11月度2件、10月度2件、7月度1件、6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件)

・フィッシングメールの件数： 6件

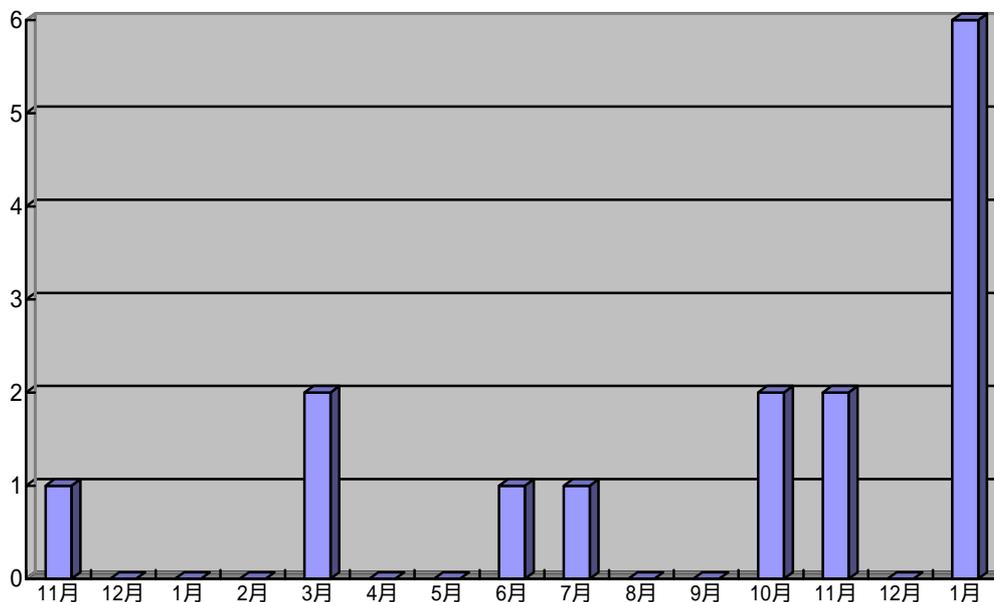
・フィッシングサイトの件数： 3件

(12月度0件、11月度2件、10月度2件、7月度1件、6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件)

・フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数： 3件

(12月度0件、11月度2件、10月度2件、7月度1件、6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件)

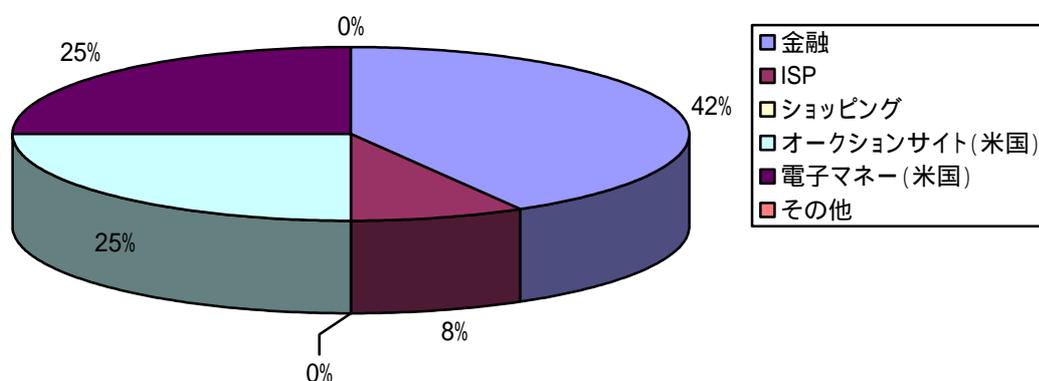
・もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国： 米国・日本・中国



フィッシングサイトの報告件数(2004年11月～2006年1月)

1.2. 業種別の状況

2004年11月度から2005年12月度までの統計は従来までの金融関連5件、ISP1件、オークションサイト3件（米国2件・日本1件）、電子マネー3件（米国）という統計になっています。



業種別の状況（2004年11月～2006年1月）

1.3. フィッシングサイトの国別トップ10

現在ではルーマニア、ウルグアイ、ポーランド、韓国が各1件、日本3件、ペルー、中国が各2件、米国が4件確認されています。

1.4. フィッシングメールの動向

現在確認されているものに関してはHTMLメール偽装リンクを設置してフィッシングサイトに誘導させるというもののみが確認されています。

1.5. フィッシングサイトの動向

報告されたフィッシングサイト3件のうち1件はセキュアサイトシールの偽装を行っていました。URL に表記されているドメイン名とセキュアサイトシールに記述されている名前とが異なっていました。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

特にありません。

1.8. 総括

1 月度は統計開始後最も多くの届出が来た月となりました。届出はすべて日本国内からのものでした。日本国内においても以前より多くのフィッシングメールが出回り始めていることが考えられます。

また、今月報告されたフィッシングサイトのうち1件は「1.5. フィッシングサイトの動向」でもあるようにセキュアサイトシールを偽装していました。URL に表記されているドメイン名とセキュアサイトシールに記述されている名前が異なっていました。URL では「banka」となっている部分がセキュアサイトシールでは bank となっているという非常にわかりづらいものだった為、注意深くセキュアサイトシールを見たとしても騙されてしまう可能性がありました。